各会場校学年別課題研究会一覧（予定）

	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
第1会場 新宿区立四谷小学校	A北海道	B石川	A香川	B鳥取	A高知	B岐阜	A青森	B徳島
	東　京							
第2会場 小金井市立小金井第一小学校	A滋賀	B群馬	A山梨	B岡山	A栃木	B広島	A愛媛	B埼玉
	東　京							
第3会場 中央区立日本橋小学校	A千葉	B山口	A沖縄	B神奈川	A茨城	B名古屋	A京都	B福岡
	東　京							
第4会場 世田谷区立代沢小学校	A熊本	B神奈川	A大阪	B佐賀	A静岡	B北海道	A鹿児島	B奈良
	東　京							

■会場広域マップ

全体会場 浅草公会堂　銀座線：浅草駅（1番・3番）徒歩5分　都営浅草線：浅草駅（A4）徒歩7分　東武鉄道浅草駅（北口）徒歩5分　つくばエクスプレス：浅草駅（A1）徒歩3分
第1会場 新宿区立四谷小学校　中央線・総武線：JR四ツ谷駅（赤坂出口）徒歩7分　東京メトロ丸ノ内線・南北線：四ツ谷駅（出口2）徒歩7分
第2会場 小金井市立小金井第一小学校　JR中央線：武蔵小金井駅（南口）徒歩8分
第3会場 中央区立日本橋小学校　都営浅草線：人形町駅（A6）徒歩3分　日比谷線：人形町駅（A2）徒歩4分　半蔵門線：水天宮前駅（7番）徒歩6分
第4会場 世田谷区立代沢小学校　電車最寄駅：小田急線下北沢駅（東口）・京王井の頭線下北沢駅（南西口）徒歩10分　バス最寄停留所：小田急バス（下61・渋54）代沢小学校

申し込み（最終案内にて、申込先のホームページアドレスや詳細な申し込み方法についてお知らせいたします。）

1. 本大会の申し込みにつきましては、大会申し込みページからの個人単位でのオンライン受付となります。
2. 各会場校の公開授業は、人数制限を設ける予定です。教室に入りきれなかった方のために、体育館でのサテライト方式による同時中継を予定しております。
3. 先着順の申し込みとなります。
4. 宿泊場所、東京までの交通手段の斡旋は行いません。各自での手配をお願いいたします。

■お問い合わせ先　東京大会実行委員会事務局

大会運営について
東京大会運営部長
東大和市立第九小学校長　小須田　哲史
TEL.042-564-3251　FAX.042-590-7026
e-mail kyushou02zsk@city.higashiyamato.lg.jp

研究・理論・授業について
東京大会研究部長
西東京市立碧山小学校長　中嶋　太
TEL.042-422-4521　FAX.042-424-2661
e-mail ep-hekiza@nishitokyo.ed.jp

申し込みについて
東京都小学校社会科研究会事業部副部長
江戸川区立二之江小学校長　大須賀　慎一
TEL.03-3680-6273　FAX.03-3687-8419
e-mail shinichi-osuga@city.edogawa.tokyo.jp

東京都小学校社会科研究会ホームページ→
https://www11.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1350008

各都道府県教育委員会教育長　様
各区市町村教育委員会教育長　様
各都道府県社会科教育研究会会長　様
各　都　道　府　県　学　校　長　様
社　会　科　教　育　関　係　者　様

令和５年３月吉日

全国小学校社会科研究協議会 会長　和田 幹夫
東京大会実行委員長　増田　亮

二次案内

第61回全国小学校社会科研究協議会研究大会
第22回関東地区小学校社会科研究協議会研究大会
令和5年度東京都小学校社会科研究会研究発表会

大会主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～

令和5年 11月

9日(木)［全体会］
13:00～16:45
会場：浅草公会堂

10日(金)［会場校別研究会］
8:50～16:30
会場：都内4会場校

ALL TOKYO! 2023
東京大会

ごあいさつ

都小社研では、標記大会主題のもと、実践を積み重ね研究を深めてまいりました。

このたび、2日間にわたり研究大会を開催し、その成果とこれからの社会科授業の在り方をオール東京の体制で提案します。

全国の皆様のご参会を心よりお待ちしています。

東京都小学校社会科研究会
会長 和田 幹夫

ALL TOKYO! 2023
東京大会

主　催

全国小学校社会科研究協議会
関東地区小学校社会科研究協議会
東京都小学校社会科研究会

後　援（申請中）

文部科学省
東京都教育委員会
新宿区教育委員会
小金井市教育委員会
中央区教育委員会
世田谷区教育委員会
全国連合小学校長会
東京都小学校長会
東京都小学校教育研究連合会

大会日程

1日目 令和5年11月9日(木)　13:00～16:45　会場:浅草公会堂

■指導講評：文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉 勝登先生
■記念講演：東叡山輪王寺門跡門主・寛永寺貫首 浦井 正明先生
東京学芸大学名誉教授 大石　学先生
徳川林政史研究所特任研究員 浦井 祥子先生（進行）

12:30	13:00	14:00	15:10	16:45
受付	開会行事	全体会　大会主題提案 指導講評	記念講演	閉会

2日目 令和5年11月10日(金)　8:50～16:30　会場:都内4会場校

8:35	8:50	9:35	9:40	10:25	10:40	11:35	12:05	13:05	14:25	14:40	16:30
	受付 生活科等 授業公開	移動	公開授業	移動	全体会 会場校提案	指導講評	昼食	学年別授業研究会	移動	学年別課題研究会	

※第2会場（小金井市立小金井第一小学校）では、生活科と合わせて特別支援学級の公開授業も行います。

研究の概要

1 単元構想について

❶教材開発の3つのポイント
○社会とのつながりを意識できる教材
○東京らしさやよさを感じ、都民として誇りがもてる教材
○人の営みや働きに共感できる教材
❷「知識」「見方・考え方」「問い」「資料」の4つの観点に基づいた教材分析
❸子供の学びのプロセスに即した単元構想

2 授業づくりの手だてについて

❶主体的に問いを追究する工夫
❷社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫
❸子供の学びを確かにする評価の工夫

会場校紹介（令和5年3月1日現在）

第1会場 新宿区立四谷小学校

〒160-0004　東京都新宿区四谷2-6

校長：石井 正広
児童：594人　学級数：19学級
講師：大妻女子大学教授
澤井 陽介先生

■学校・地域の特色

本校は、平成19年にそれぞれ百年以上の歴史を誇った旧四谷第一小学校、四谷第三小学校、四谷第四小学校を統合して創立した「統合新校」であり、本年度で16年目を迎えました。学校の近くには、四谷見附跡、四谷大木戸や玉川上水記念碑、国宝の迎賓館など、江戸から続く歴史を肌で感じることができる地域です。三校の歴史と伝統を引き継ぎ、新宿区指定の地域協働学校としても12年目になりました。スマイルクラブ（学校支援ボランティア登録者）による支援のもと、生活科・社会科・総合的な学習を中心に地域社会とつながった学習が展開されています。

■研究の概要

子供が地域のひと・もの・ことにつながることができる教材開発をすすめ、単元のねらいに迫る人物の営みを資料化するとともに、「自分発・みんな経由・自分行き」の授業を通して、社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を実現し、社会とつながり未来を創る子供の育成を目指します。

そのために次の3つのことを大切にした授業づくりをすすめています。

●未来の社会を創ることにつながる見方・考え方を養う人物の教材化
●「じぶんタイム・みんなタイム・ふりかえりタイム」による授業構成
●子供が学びを自ら振り返るツール「学び方カード」の活用

第2会場 小金井市立小金井第一小学校

〒184-0004　東京都小金井市本町1-1-6

校長：浅野 正道
児童：698人　学級数：24学級
（通常の学級21学級、特別支援学級3学級）
講師：東京学芸大学教授
櫻井 眞治先生

■学校・地域の特色

本校は、明治6年（1873年）、小金井市内で現存する最も古い寺である金蔵院の中に尚絅学舎として開校し、令和5年に創立150周年を迎える長い歴史と伝統を有しています。学区域及びその周辺には、市役所や警察・消防署、農家、商店街やスーパーマーケット、浄水所、ごみ中間処理場、玉川上水等があり、社会科学習の教材の宝庫となっています。令和2年度より、国立教育政策研究所の研究指定を受けて、社会科を中心に校内研究を継続しており、令和3年度には第75回全国社会科教育研究協議会（社会科教育連盟）会場校として、社会科と生活科の公開授業を行っています。

■研究の概要

校内全体で、社会科をはじめ全ての教科等の学習において、子供が主体的に考え、話し合い、表現する授業を継続して行っており、自ら問いをもち、対話的に学び合ったり多角的に考えたりする学習活動を展開しているところです。研究の重点は、以下のとおりです。

○子供が主体的に学び方を選択し、調べて考える時間を十分に確保して、少人数グループやICT端末等を効果的に活用して友達とゆったりと話し合い、表現できるようにする。

●社会的事象の見方・考え方を働かせることを促す教材を開発する。
●社会的事象に着目した問いや、社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える問いを設定する。
●問いをもち、対話的に学び合い、複数の立場や意見を基に考える学習活動を工夫する。
●毎時間の学習活動や評価に合わせて、ノート等で振り返りを行い、次時の学習につなげていく。

第3会場 中央区立日本橋小学校

〒103-0013　東京都中央区日本橋人形町1-1-17

校長：児玉 大祐
児童：432人　学級数：15学級
講師：國學院大学教授
安野 功先生

■学校・地域の特色

日本橋は、三越本店や日本銀行など歴史ある建築物が立ち並ぶエリアで、古き良き伝統と新しさが共存している魅力があります。また、江戸時代から五街道の起点として、全国各地から多くの人や物が集まってきました。今でも商業・経済・文化の中心地として、賑わいを見せている地域です。

西郷隆盛の屋敷跡に建つ本校では、地域の特色を生かし、伝統と文化を大切にした教育活動を展開するとともに、ICTを活用した「オンライン英会話」や、一律に児童に課す宿題を廃止し、家庭での児童の学びを支援する「MyStudy」に取り組むなど、先進的な教育活動にも積極的に挑戦しています。

■研究の概要

児童が「問い」に向かって、当事者意識をもって主体的に追究していく授業づくりを目指し、文部科学省や東京都教育委員会から協力校・推進校の指定を受け、実践的な研究を進めています。

研究大会では、これまで社会科授業で取り上げてきた地域教材と、児童の「?」を導き出す教材との出会いの工夫を分析・整理し、主体的な学びの方程式「日本橋スタイル」を提案します。

【日本橋スタイル】

●地域教材の開発:販売の仕事（地域に根付く「三越本店」「馬喰町問屋街」）、年中行事（日本橋最大の祭り「べったら市」）、工業生産（優れた技術　文房具「ぺんてる」）、情報産業（報道の使命「読売新聞」）、江戸文化（老舗 浮世絵版元「伊場仙」）、政治（日本橋の再開発「三井不動産」「首都高速道路」）
●教材との出会い:2段階の教材提示と疑問・予想、毎時間の「問い」の設定　など

第4会場 世田谷区立代沢小学校

〒155-0032　東京都世田谷区代沢5-1-10

校長：諸角 哲男
児童：572人　学級数：18学級
講師：白百合女子大学教授
中田 正弘先生

■学校・地域の特色

本校は、明治13年（1880年）に伊東伝吉氏邸に「代澤学校」として開校し、令和5年度に創立144周年を迎える長い歴史と伝統を有しています。下北沢駅の南口商店街を抜けた住宅地にある本校の周辺には、徳川家ゆかりの「森巌寺」、「北澤八幡神社」等、歴史的建造物もあり自然も豊かです。また、校舎の南側の、玉川上水の分水（北沢川）を暗渠とした「北沢川緑道」が遊歩道として整備されています。高度処理水が流れる「せせらぎ」には、四季折々の動植物を見ることができます。令和3年度より、世田谷区小学校教育研究会研究推進校の指定を受け、生活科、社会科の研究を進めています。

■研究の概要

地域や社会、人々の働きに着目し、自ら問いをもち、見方・考え方を働かせながら、自らの学習を振り返ったり見直したりして学び、対話を通して考えを広げ深める子供を育成しています。

●子供の追究意欲を高める地域教材の開発を行うとともに、教師の手を離れても自ら学びを進められるような単元設計と学習活動を工夫する。
●子供が自らの学習状況を管理したり把握したりするとともに、学びを次につなげるための改善の視点をもてるよう振り返る活動を工夫する。
●子供の学習の進捗状況を評価し、社会的事象の見方・考え方を働かせて追究することができるよう教師の助言の仕方や学びの場の設定を改善する。